



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 近畿技術事務所	配布日時	平成26年8月19日 14時00分
資料配布		

件名	～産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく～ 新都市社会技術融合創造研究会 新規研究プロジェクト4件を選定しました。
----	--

概要	<p>近畿地方整備局の参画する、新都市社会技術融合創造研究会において、産・学・官の連携・協力によって取り組む技術研究プロジェクトを募集しましたが、その結果、応募期限までに9件の応募があり、この度、その中から新規研究プロジェクト4件を選定しました。</p> <p>これらの研究プロジェクトは、社会資本の整備、維持、管理に関わる技術の研究を行うもので、平成26年度よりプロジェクトチームを設置し、産・学・官による研究活動がスタートします。</p>
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	近畿地方整備局 近畿技術事務所 副所長 杉若 武 技術情報管理官 日下 慎二 電話 072-856-1941 (代表)
------	--

近畿地方整備局の参画する、新都市社会技術融合創造研究会において、産・学・官の連携・協力によって取り組む技術研究プロジェクトを募集しましたが、その結果、応募期限までに9件の応募があり、この度、その中から新規研究プロジェクト4件を選定しました。

これらの研究プロジェクトは、社会資本の整備、維持、管理に関わる技術の研究を行うもので、平成26年度よりプロジェクトチームを設置し、産・学・官による研究活動がスタートします。

1. 近畿地方整備局の求める研究テーマ（「橋梁の点検技術の効率化・高度化に関する研究」）

◇橋面より実施する簡易な橋梁点検システムに関する研究

- 代表者 福井大学大学院工学研究科建築建設工学専攻
磯 雅人 准教授
- 研究内容 橋面上より遠隔操作で安全・簡単・迅速に橋梁上部工桁下・下部工の点検・調査・試験を行うことが可能な橋梁メンテナンスシステム機材の開発。
- 研究期間 平成26年度～平成28年度

◇ひび割れ計測機と飛行ロボットによる橋梁点検手法に関する研究

- 代表者 大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 橋梁工学分野
山口 隆司 教授
- 研究内容 地上から測定する既存のひび割れ計測機の橋梁点検全般への活用を検討するとともに、死角や暗所などの測定困難箇所では飛行ロボットを活用する総合的な橋梁点検システムの実用化。
- 研究期間 平成26年度～平成27年度

◇FRP製簡易展開式橋梁検査足場の開発に関する研究

- 代表者 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻
杉浦邦征 教授
- 研究内容 支間長 30～50m 程度までの中小規模橋梁の効率的な点検を目的とする、橋上から少人数で短時間に設置でき、桁下空間内で縦横に展開・移動できる軽量の検査用足場の開発。
- 研究期間 平成26年度～平成28年度

2. 自由テーマ

◇舗装アセットマネジメント高度化に関する研究

- 代表者 京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻
松島 格也 准教授
- 研究内容 現場で蓄積される点検等のデータを活用する統合的なデータベースの構築によって、道路舗装の中長期的なライフサイクルコストの最小化を目指した道路舗装アセットマネジメントシステムの高度化。
- 研究期間 平成26年度～平成28年度

新都市社会技術融合創造研究会 新規プロジェクトの募集について

1. 本会の主旨及び目的

本会は、社会資本の整備、維持・管理に関わる産・学・官の連携・協力による新しい技術の研究、普及等に関する事業を行い、もって都市再生と地域圏による経済活力の回復に貢献し、国民生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境の保全・創出に寄与することを目的とします。

なお、本会は、産学官から構成されるプロジェクト選定・評価委員会とテクニカルアドバイザーを通じて、研究を実施するプロジェクトチームの活動が円滑に行われるよう、ニーズのマッチングやフィールドの提供、運営等について助言し、支援を行うものです。(研究費補助等の財政面での支援を行う趣旨ではありません)

2. 応募資格

本会の主旨に賛同し、研究テーマに興味・意欲をもって、積極的に研究活動に参画できる個人・組織とします。

3. 研究テーマ

(1) 近畿地方整備局の求める研究テーマ

下記のテーマについて募集を行います。

「橋梁の点検技術の効率化・高度化に関する研究」

(研究内容の例)

- ・コンクリートのひびわれ・うき、鋼橋の亀裂・腐食等について、近接目視点検と同等の精度を確保する点検手法の開発
- ・点検のための仮設足場設置方法の効率化や仮設足場を必要としない点検手法の開発
- ・既存の橋梁点検車両の改良による点検の効率化

(2) 自由テーマ

本会では、上記のテーマ以外に、自由テーマを募集します。新しい技術開発に関連するものであれば、積極的にプロジェクトチーム活動を支援し、今後の取り組みテーマとして検討する予定ですので、積極的なご応募を期待しております。

4. 審査結果のお知らせ

プロジェクト選定・評価委員会において、研究内容とプロジェクトチーム設置について審査のうえ、審査結果をお知らせします。

※産及び学からの応募があり、研究内容がマッチングする場合に採択となります。

5. 応募期限

平成26年7月4日(金)

※自由テーマについては期限を設けておりません。

6. 応募方法・応募用紙

応募用紙(標準はA4サイズ)に必要事項を記入し、下記事務局宛にメール又は郵送願います。なお、質問のある場合は連絡先記入の上、任意の様式でメール又はFAXにてお問い合わせ下さい。

宛先 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 新都市社会技術融合創造研究会事務局

住所 〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1

TEL 072-856-1941(代表) FAX 072-868-5613 E-mail: ls-gijyu02@kkr.mlit.go.jp

※詳しい内容につきましては、近畿地方整備局の新都市社会技術融合創造研究会HPをご覧ください。(下記URL)

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/index.html>

研究テーマ 応募用紙

<p>1. 代表者等</p> <p>組織名：</p> <p>代表者：</p>
<p>2. 代表者の連絡先</p> <p>住所：</p> <p>電話・FAX 番号：</p> <p>e-mail：</p>
<p>3. 研究テーマ</p>
<p>4. 研究方針（取り組みの考え方、特に提供できる内容、取り組み）</p>
<p>5. 研究概要（研究項目、研究の実施体制等、現段階で想定できる範囲でお示してください。）</p>

6. 研究の特徴（研究内容の独創性、先導性、他との違いをアピール、申請予定あるいは取得した特許、関連する論文等を記述）

7. 研究により期待される具体的な成果

9. 年度毎の研究内容（研究期間は、平成26年度から原則として1～3年とします。）

年 度	研 究 内 容
平成26年度	
平成27年度	
平成28年度	

10. その他